

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

松江市長

市町村名 (市町村コード)	松江市 (32201)
地域名 (地域内農業集落名)	鹿島地区 (名分・佐陀宮内・佐陀本郷・根連木)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月19日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者(個人・法人)4経営体、認定新規就農者2経営体の担い手により地域の農地の11.7ha(39.8%)の農地を集積している。 ・高齢化や後継者不足により、農地の保全管理などで地域の人手不足が生じている。 <p>【地域の基礎データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者(個人)2経営体、認定農業者(法人)2経営体、認定新規就農者2経営体 <p>主な作物:水稲</p>
--

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・水稲を中心作物とし、高収益作物の品種や栽培計画などについては、地域の中心的経営体と協議し進めていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	29.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	29.4 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地区域のうち多面的機能支払交付金の活動エリア内の地目が田、畑、農業施設用地及び一部多面的機能支払交付金の活動エリア外の地目が田、畑とする。
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農業振興公社、農業委員会などの関係機関と連携して地域の中心的な経営体に集積・集約を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・原則として、地域全体の農地は農地バンクに貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・市、県やJAなどの関係機関と連携して、農業従事者の確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・必要に応じて検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①イノシシ等の鳥獣害対策を行い耕作地の保全を図る。
- ⑦地域ぐるみで畦畔、水路、農道などの地域資源の保全管理を行い、中心的な経営体の負担の軽減を図る。